

日田高校定時制 学校だより ♪希望・理想・使命♪

～定通高校生の青春メッセージ～

定 時制通信制生徒生活体験発表大会というものをご存知でしょうか。この大会は、定時制および通信制高等学校に学ぶ生徒が、学校生活を通して、感じ、学んだ貴重な体験を発表し、多くの人々に感動と励ましを与えることを目的として開催されています。11月19日(日)に東京の六本木ヒルズで行われる全国大会には、各県の予選会で優勝した生徒たちが出場し、さまざまな困難を乗り越え、明るく建設的な人生を切り拓いていく姿を、いきいきと発表します。一昨年の全国大会に、本校4年生の桜木優季さん(当時は2年生)が出場したことは、いまだに記憶に新しいビッグニュースでした。



(写真は大会より)

さて、今年の県代表を決める大会が、10月20日(金)、大分県立大分工業高等学校にて開催されます。大分県内の定時制・通信制5校からの代表者が出場し、1名しか選ばれない最優秀賞を目指します。本校からは、2年生の坂本 暉さんが出場します。

ホームページですでお知らせしましたが、9月8日(金)に校内生活体験発表会が行われました。学校生活を通して学んだことや、日頃抱いている思いを、自らの貴重な体験を交えて8名の生徒が発表しました。最優秀賞と優秀賞に輝いた4名の生徒をここでご紹介します。

まずは、1年生で優秀賞を獲得した藤井巧麻さん。中学時代の辛い体験を引きこもっていた時の話を発表してくれました。



— なぜこのテーマに決めたのですか。

自分の人生を振り返って話をしようと思いました。タイトルも最初は「壁」にしようと思ったのですが、「一歩ずつ」の方がしっくりきたので、このタイトルに決めました。

— この発表でみんなに伝えたかったことは何ですか。

小さな一歩でも、積み重ねれば大きな一歩になるということです。

— 発表を終えて、いまの気持ちはどうですか？

早く終わってよかったです(笑)



2人目の優秀賞は、3年生の宿利健太さん。プラスの夢を持つことが大事であると、熱く語ってくれました。

— なぜこのテーマに決めたのですか。

「夢」や「未来」の話、明るい話にしたかったので。暗い部分はできるだけ少なくしようと思いました。

— この発表でみんなに伝えたかったことは何ですか。

理想とちがう人生になっても、そこから立て直せるから大丈夫。だから、前向きに生きていきましょう。

— 発表を終えて、いまの気持ちはどうですか？

やっと落ち着けるといきたいところだが、体育祭や受験があるので、そういうわけにもいかず…(汗)

(※このインタビューは体育祭前の9月中に行われました)



3人目の優秀賞は、2年生の中島真理愛さん。定時制に入る前の自分とは確実に変わっている「いまの自分」について、丁寧に発表してくれました。

— なぜこのテーマに決めたのですか。

入学してから、自分が変わったなと思うときがあったからです。

— この発表でみんなに伝えたかったことは何ですか。

今の気持ちとか、経験して思ったことを伝えたかったです。

— 発表を終えて、いまの気持ちはどうですか。

上手く伝わらなかったところもあると思うけど、自分の言葉で発表できて良かったです。

そして、最後は最優秀賞に輝いた、2年生の坂本 暉さん。自分を変えるためにアルバイトを始め、入学時に決めた目標を達成しようと仕事と学業の両立に取り組んでいることを語ってくれました。

— なぜこのテーマに決めたのですか。

私の苦手なことを克服したいという気持ちから、このテーマにしました。

— この発表でみんなに伝えたかったことは何ですか。

努力を続ければ変われるということ。

— 発表を終えて、いまの気持ちはどうですか。

ホッとした。

— 県大会に向けての意気込みをお願いします。

練習してきたことを出し切りたいです。

— 県大会での健闘を祈っています。頑張ってくださいね。



Editor's Note 【編集後記】

「学校は自分の中でいやな場所だったし、好きではありませんでしたが、定時制に来てから少しだけ気持ちが変わりました。」ある生徒の発表から出てきた言葉だ。生活体験発表会でこれまでの辛い経験を静かに語る生徒を見ると、この定時制が「なりたい自分」へと変わるきっかけを与える、そんな場所になれたらと思う。定時制の役割のひとつを示唆されたような気がする。

